

## ダイズ子実汚斑病（仮称）媒介カメムシの越冬調査

ダイズ子実汚斑病（仮称）はカメムシ類によって媒介され、種皮に汚斑を生じたり、重篤な場合には子実の肥大停止による減収を生じる病気です。これまで、我が国では発生が確認されていなかったため、本菌の生態は不明です。

そこで、媒介カメムシ類の中で最も保菌率の高いホソヘリカメムシによる本菌の媒介と伝染環の解明のために越冬成虫の保菌率の調査を進めています。



フェロモントラップに誘引されたホソヘリカメムシ越冬虫（矢印：トラップ）